

2024.4.2

田村まみ参議院議員、厚生労働委員会で質疑！

カスハラ対策について



田村まみ議員、武見厚生労働大臣（右）

<https://youtu.be/QyklgkUX3ss>

田村まみ参議院議員、発言抜粋

カスハラ対策について

まみに聴かせてキャンペーンに寄せられた声

「カスタマーハラスメント対策の法制化をお願いします。」

「カスタマーハラスメントについて、まだ現場では具体的に対応の仕方が分からず困ることもあります。法制化やマニュアルの作成など、目に見える形での成果をお願いします。」



- 採択から間もなく5年が経過するILO第190号条約（仕事の世界における暴力及びハラスメントの撤廃に関する条約）について、かねてより即刻の批准を求めてきましたが、現時点での課題と進捗について問いただしつつ、カスハラ対策の法制化を早急に行うことの必要性を訴えました。
- 厚生労働大臣からは、①条約批准については国内法制との整合性等の観点でさらなる検討が必要であること、そして、②カスハラ対策については、法令化について言及はなかったものの、2023年に実施したハラスメント実態調査の結果を精査していること、また本年2月から「雇用の分野における女性活躍推進に関する検討会」において有識者での議論を開始したことを言及しつつ、引き続きカスハラ対策を検討するとの答弁がありました。
- UAゼンセンによるカスハラ実態調査を基に、自治体では条例制定に向けた動きも進んでおり、政府としてもカスハラ対策を前向きに進めることを求めました。
- 令和6年度「総合的ハラスメント防止対策事業」における「業種別カスタマーハラスメントの取組支援」について、具体的な支援策を確認しました。労使参画による企画委員会の下で、業界団体を通じた企業への実態把握調査を行うとともに、業界共通の対応方針やマニュアルの策定等を実施し、策定された対応方針等についてプレスリリースや業界、参加企業への周知等の支援が予定されていることがわかりました。